

進路だより

北九州市立特別支援学校
北九州中央高等学園 進路支援部
令和6年10月31日(木)
第22号

◆PTA主催による施設見学◆

PTA主催による施設見学として、9月30日(月)に本校保護者23名と進路支援部職員2名で、『サンアクアTOTO株式会社』と『インクル春ケ丘』へ行ってきました。

『サンアクアTOTO株式会社』は、小倉南区舞ケ丘にあり、福岡県・北九州市・TOTO株式会社の共同出資による第三セクターの特例子会社です。本校の卒業生も多く雇用していただいています。主な業務内容は、TOTOブランドの水栓金具や衛生陶器などの部品の組み立てです。経営方針として「障害の有無に関わらず、一人ひとりの能力と個性を活かせる会社でありたい」と考え、働きがいのある会社づくりに努めているようです。



『インクル春ケ丘』は、就労継続支援B型や宿泊型自立訓練など5つの事業形態を持つ障害福祉サービス事業所です。就労継続支援B型事業では、自分のペースで働きたい人に、それぞれの希望する働き方に沿った仕事を提供しています。宿泊型自立訓練事業では、集団生活を通じて、規則正しい生活リズムの習得(健康管理)をはじめ、適切な人間関係づくり、掃除・洗濯、金銭管理など自分でできることを増やせるよう支援をしています。

今回の施設見学を通して、仕事現場や生活の場としての居室などを実際に見て、保護者にとって、生徒たちの卒業後の具体的な生活イメージを持つことができたようでした。自立へ向けて、早い時期から計画的に利用を進め、少しでも『生きる力』を付けることができるといいですね。

◆校外実習 保護者説明会(1年生保護者)◆

9月18日(水)に1年生保護者を対象とする校外実習保護者説明会を実施しました。進路指導主事からは、以下の話がありました。

定期実習の目標

- ・体験を通して、職場での決まりや社会人としての心構えを学ぶ。
- ・自分の能力や適性を知り、継続して働く力を高める。
- ・将来の働く生活を見通して、自ら挑戦する意欲を伸ばす。



進路指導主事から実習中の緊急時の対応として

- ・怪我や体調不良などで働き続けることができない場合、担任や進路担当が現地に参ります。
- ・学校より保護者に連絡を入れますので、実習先に迎えに来ていただき、生徒と一緒にそのまま病院へ通院していただくか、帰宅していただきます。
- ・保護者が実習先に迎えに行くことができない場合、本校職員がタクシーを使用して、病院又は自宅へ送ります。その際の費用は、ご家庭でのお支払いとなります。ご了承ください。
- ・必ず保護者に直接引継ぎをさせていただきますので、重ねてお願いいたします。

多数のご参加、どうもありがとうございました。

◆就労選択支援事業(新たに創設される障害福祉サービス事業)◆

『障害者本人が就労先、働き方についてより良い選択ができるよう、就労アセスメントの手法を活用して、本人の希望、就労能力や適性などにあった選択を支援することができる』ように、就労選択支援が創設されます。(令和7年10月1日施行)

対象者

- 就労移行支援又は就労継続支援A型、B型の障害福祉サービス事業を利用希望する者
- 就労継続支援B型を利用希望する者は、令和7年10月以降の利用申請前に、原則として就労選択支援を利用する。
- 就労継続支援A型及び就労移行支援を利用希望する者は、支援体制の整備状況を踏まえつつ、令和9年4月以降、原則として就労選択支援を利用する。

基本的なプロセス

- 短期間の生産活動等を通じて、就労に関する適性、知識及び能力の評価並びに就労に関する意向などの整理(アセスメント)を実施する。
- アセスメント結果の作成に当たり、利用者及び関係機関の担当者などが集まり、連携会議を開き、利用者の就労に関する意向確認を行うとともに、担当者などに意見を求める。

- アセスメント結果を踏まえ、必要に応じて公共職業安定所などとの連絡調整を実施する。

特別支援学校における取り扱い

より効果的な就労選択に資するアセスメントを実施するため、特別支援学校高等部3年生以外の学年で実施できること、また、在学中に複数回実施することを可能とする。加えて、職場実習(産業現場等における実習)のタイミングでの就労選択支援も実施可能とする。